

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)	良くなる	一般小売店〔米穀〕 (経営者)	・株価の安定と希望も含めて良くなる。
		スーパー(経営者)	・良くなるように創意工夫しながら、一つ一つ進めているため、良くなる。
		コンビニ(経営者)	・気温が上昇していることと、周辺では夏祭りが非常に盛んに行われ、花火大会などの催し物もあり、全体的に消費が活発である。夏場の1～2か月はまだこの状態が続く。
		その他小売〔雑貨卸〕 (経営者)	・政府の経済政策が的を得ている。
		旅行代理店(販売促進担当)	・2～3か月後は旅行業界においては最大の書き入れ時であり、特に、法人の教育旅行が中心になる。先の予約状況からもそれが読み取れるので、今よりは良くなる。また、徐々に組織の活性化ができてきていることもプラス材料である。
		観光名所(職員)	・9～10月になると紅葉の走りとなる。また、9月はシルバーウィークで5連休となるため、今よりは良くなると期待している。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・3か月先のイベントの仕込みを行っているが、スポンサー企業の動きが非常に良い。不景気の際はスポンサー獲得に四苦八苦していたのに、今は断らないといけないケースもある。確実に良くなってきている。
		商店街(代表者)	・当地域でプレミアム付商品券が発売され、ほぼ完売のほか、商店街等の小型店舗で利用できる商品券が今後、いくらかの売上増に寄与する。
		一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・電気製品は壊れないとなかなか買い換えないが、良い物を安く買う客が増えており、購入単価が上がっている。
		一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・前月、今月と客単価が微増しているため、やや良くなる。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	・プレミアム付商品券による効果が少し出ている。
		百貨店(総務担当)	・猛暑が和らげば多少は良くなると考えているが、来店促進策を様々な切り口から行う必要がある。
		百貨店(総務担当)	・中国の株価暴落の影響を最小限に抑えた感があり、株式市場はしばらくの間は安定的に推移する。景気も年初からのトレンドに従ってやや良くなる。
		百貨店(広報担当)	・客による売上動向をみると、単価の高い物を含めて売上が比較的好調である。今後についてもインバウンド需要などもあり、好調に回復していく。
		百貨店(店長)	・景気回復とインバウンドに期待している。
		スーパー(店長)	・各チェーン店の情報からプレミアム付商品券の販売動向がすごく良いということなので、3か月後の景気についてもこの効果が期待できる。また、売上が予算に達していないとどういう状況だろうが景気が良いわけがない。今月は買上点数、客単価が前年を上回っているが、7月初めの降雨の影響で来客数が減少したため、3か月後については当然降雨の予想はないので、今よりはやや良くなる。
		コンビニ(経営者)	・当店の近隣に工事現場が多く、客単価が上昇している。まだ1～2年は工事があるため、やや良くなる。
		コンビニ(経営者)	・単価が上昇しているので、客の購買意欲が上がっていると判断できる。
		コンビニ(経営者)	・今までの売上、来客数の動向から、期待も込めてやや良くなる。
		衣料品専門店(経営者)	・景気は一気に回復しないが、行ったり来たりはしている。9月からのプレミアム付商品券の発行もあり、回復するのではないかと期待している。
		衣料品専門店(経営者)	・プレミアム付商品券に期待している。
		衣料品専門店(経営者)	・秋冬物が本格的に動き出す時期に入り、また、購買力に明るさがみえてきているので、大いに期待している。
		乗用車販売店(販売担当)	・オリンピックなどといった観光事業も含めて良くなっていると聞いており、特に、観光事業では我々トラック関係で製造しているバスについては1年待ちという話も出ている。ただし、ダンプカー、ミキサー車については飽和状態になって、若干下げ止まりというような状況である。全体的には良くなっている。
乗用車販売店(総務担当)	・上期の決算を迎えるため、需要が増えると予想している。		
住関連専門店(営業担当)	・景気回復が賃上げやボーナス等、所得に反映されつつあると感じる。		

一般レストラン（経営者）	・夏場はどうしても来客数が少ないが、9～11月になると来客数が増え始め、各種イベントも多くなり、ケータリングも増えるため、3か月後の景気は今よりは少し良くなる。	
一般レストラン（経営者）	・景気上昇の要素は潜在的にあると思うが、プレミアム付商品券はまだ商店、客に浸透していない。	
一般レストラン（経営者）	・2～3か月後は多少は消費も落ち着き、段々と涼しくなるため、人が動いてくる。また、消費税増税がどうなるか、話題になるかどうかによって違ってくる。	
一般レストラン（経営者）	・国立競技場の建替えが一時中止になり、押さえられていた職人が大分仕事がしやすくなったような話を聞いた。人手があれば仕事が取れるという建築業が結構あるので、そういった現場が動き出す。	
一般レストラン（経営者）	・飲食店はニッパチが暇になり、お盆休みも挟むので当店でそれほど見込めないが、プレミアム付商品券が来月から発行されるため、買物する人で街自体は活気付く。	
一般レストラン（経営者）	・次の消費税増税まではというマインドがある。また、オリンピックについてもイメージが先行しているが、期待がうかがえる。不可抗力による障害が起きない限りは、上昇傾向にある。	
都市型ホテル（スタッフ）	・客からの問い合わせは秋口を中心に増えてきており、予約も順調に推移している。直近での動きも多いことから不安な要素も残るが、トップシーズンでもあり、例年からすると集客の伸びに期待ができる。現状よりはやや良くなる。	
旅行代理店（従業員）	・シルバーウィーク前後の期間をはさみ、国内旅行の動きが良い。特に、沖縄、九州方面が好調である。	
旅行代理店（従業員）	・アジア方面の販売量は伸びていないが、ビーチリゾートが多くなってきているので、販売額も上がっている。	
旅行代理店（従業員）	・期待も含めてやや良くなる。	
旅行代理店（営業担当）	・商品が充実しているため、販売が伸びる。	
タクシー運転手	・まだまだ暑い日が続く、これから台風シーズンに入ることもあり、かなりの利用が見込める。悪天候を味方に付けて仕事をしているのは、タクシーぐらいかもしれない。	
通信会社（管理担当）	・例年7月のトレンドは8～9月に影響するので、やや上向きに推移する。	
通信会社（管理担当）	・電力事業やMVNO（仮想移動体通信事業者）といった新サービスとの組み合わせで、業界全体で新サービスが渦巻くまでのここ数か月については、引き続き好況と見込んでいる。年末や年度末については、業界内の奪い合いなのではないか。活性化が進むのかは、まだ判断できない。	
ゴルフ場（支配人）	・秋口の予約はかなりの客数を確保できている。	
住宅販売会社（従業員）	・今月が非常に悪かったため、これ以上は景気が悪くならないとみている。良くなる要因があるわけではないが、涼しくなる秋口から客の動きが出てきてやや良くなるのではないかと。	
住宅販売会社（従業員）	・資料数が上向きになっている。	
住宅販売会社（従業員）	・アパートの販売はまだ伸びていく。ただし、在庫の確保が難しく、大分競合するようになってきた。今後、いかに仕入れていくかがポイントになってくる。景気はまだ良くなる。	
変わらない	商店街（代表者）	・商店街の人とよく話をするが、飲食関係のオーナーはまあまあ動いていると話しているが、やはり物販があまり良くないという答えの方が多いため、物販が苦戦していると感じている。
商店街（代表者）	・長期の天気予報では、8月も前半はかなり暑いということなので、今後も客の出入りが悪くなるため、良くなるとは考えられない。	
一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・猛暑や天候不順がまだ続き、来客数が見込めないため、売上に繋がらないのではないかとと思う。	
一般小売店〔家電〕（経理担当）	・良くなる理由がみつからない。ただし、プレミアム付商品券の期限が10月までであるので、期待している。	
一般小売店〔家具〕（経営者）	・我々のような小売店ではどうしても客が選べる商品が少ないため、非常に難しい時代になっている。景気は良くなく、このままの悪い状態が続く。	
一般小売店〔印章〕（経営者）	・新年度になってから現在まで、会社設立用の印鑑注文等がゼロである。会社設立は少なくなっているのかもしれないが、需要が非常に少なくなっていると感じる。	
一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・8月は台風等の災害がなければ、このまま続きそうである。	
一般小売店〔家電〕（経営者）	・秋になっても政治、経済共に明るい見通しがほとんどないため、今の状態のまま変わらない。	

一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・やはり年金受給者の客も多いので、なかなか良くなるのは難しいが、株価上昇なども考えると、景気の良い客もいるので、全体としてプラスマイナスゼロのままでいく。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	・個人と企業の売上を足しても、まだお茶の売上高は前年同月と比べて横ばいである。販売量をみると、まだ良くなるとは言えないが、売上額は下降傾向から少しではあるが良くなっている気もする。
百貨店（売場主任）	・買い方が二極化しており、高所得層は変わらないが、パイの大きい中間所得層は円安で商品が値上がりしているため、慎重になっている。
百貨店（総務担当）	・消費者の消費に対する慎重な姿勢は引き続き継続する。
百貨店（広報担当）	・ギリシャ危機も回避され、政権も安定している。国内的にも雇用は活発で、景気が後退するような懸念材料は見当たらない。ただし、実態的には中間所得層の所得は今後も大幅な改善は見込めず、消費に余裕は出てこない。消費の二極化は解消されず、景気に影響を及ぼすような特に大きな変化は見当たらない。
百貨店（営業担当）	・訪日外国人客購入の高級ブランド衣料品、服飾雑貨、化粧品は前年比で大きく伸びているが、一般客の売上動向は必ずしも良いとは言えない。景気の個人消費への波及はまだ先のようなのである。
百貨店（営業担当）	・客単価もこのところ前年に対し微増で推移している。外国人観光客の需要も見込まれるため、しばらくはこの状態が続く。ただし、中国経済の減速が気になる要素としてあり、ただちに売上減にはつながらないものの、不安が残る。
百貨店（営業担当）	・自分にとって価値のある欲しい商品は時期を問わず買ってもらえるが、必要だから買うという商品も、買うタイミングや量の判断基準が厳しくなってきた。
百貨店（営業担当）	・化粧品、ラグジュアリー以外の婦人衣料、雑貨マーケットとしては、新しいシーズントレンドの目はいくつかあるものの、大きなうねりにはならない。
百貨店（販売促進担当）	・春闘による大手企業の夏季賞与の上昇等で景気が良くなる期待があったものの、自治体のプレミアム付商品券に対する反応や食料品の値上げが続く現状をみると、消費に対する防衛意識が強く働く消費者が多く、大きくは変わらない。
百貨店（店長）	・国内の政治やギリシャ、中国などの経済についての不安要素が大きく、心理的な影響を与えている。これが消費にお金が回らない大きな要因として今後も継続していく。
百貨店（副店長）	・今後の状況について、大きく変わることはないが、8月末に発売される地域のプレミアム付商品券を契機とした販売拡大に期待したい。
スーパー（経営者）	・起爆剤となるような政策もないため、変わらない。
スーパー（販売担当）	・競合との価格競争もあって平均単価が下がっており、客の買上点数は前年並みか前年以上ではあるものの、1人当たりの買上額がなかなか前年を超えることができない状況が続いている。
スーパー（経営者）	・今の状況は当分変わらない。競合店が近くにできた店舗は大分影響を受けている。それ以外の店舗も良い店と悪い店があるので、全体的には良くない状況である。この状況はまだ変わらないのではないかと。もちろん変えなくてはいけないが、変わらない状況が続いていくような感じがする。
スーパー（店長）	・価格に対してシビアな状態は続いており、来店頻度も過去に比べて落ちている。数円の安さを求めて買い回りをしている状況なので、元どおりに回復するまではしばらくの間を要するかもしれない。
スーパー（総務担当）	・株価等が高いまま推移しているが、実際にスーパーで買物をする客の可処分所得はそれほど大きく変わっていない。ただし、賃金が下がっているということではないので、消費自体には変わらずお金が回っていると思うが、賃金が上がって消費にお金が回るという傾向にはないので、このままで推移する。
スーパー（仕入担当）	・円安による輸入品の値上げが続いており、秋の売り場変更に向けて価格を上げざるを得ない商品が多数あり、消費の冷え込みが懸念される。
スーパー（仕入担当）	・消費税増税から1年以上経過しているが、客の声を聞くとまだ防衛意識が高い。店頭売価についても主力商品を中心に価格が下がっている。
コンビニ（経営者）	・不安定な要素がかなり多いため、変わらない。
コンビニ（経営者）	・天候次第だが、売上、来客数に変化はさほどなく、当分は現況の数字のまま推移する。

コンビニ（経営者）	・暑くなると店の周りの人の流れが少なくなるが、最近、近隣で外装の大規模リフォームをしているマンションが立て続けにあるため、職人などの工事関係者の来店が多くなり、厳しい分を少しカバーしていけるのではないかと。
コンビニ（経営者）	・様々な要因があるが、これから暑い時期が過ぎて秋口になると、また景気の後退が始まるのではないかと。
コンビニ（エリア担当）	・販売量のトレンドをみると、梅雨明けしても前年とほとんど変化がないためである。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数の増加につながる要素もなく、減少傾向が続くことが予想される。
衣料品専門店（経営者）	・このままずっと夏物バーゲンが盛り上がらない。また、晩夏の商材が難しそうである。
衣料品専門店（経営者）	・当地域ではプレミアム付商品券の販売がこれからだが、予定の倍以上の申込があり、抽選となる。プレミアム付商品券の利用で良い方向に向いてくれると有難い。それだけで景気が良くなるかは分からないが、起爆剤になればと期待している。
衣料品専門店（統括）	・今まで続く客数減が2～3か月の間に大きく改善されるとは思えない。
家電量販店（店員）	・製造元の動きで販売店が左右されるため、現状と変わらない。
家電量販店（統括）	・6月が厳しかったため、7月後半でエアコンや冷蔵庫が売れなければ、第2四半期も厳しい。
家電量販店（経営企画担当）	・季節要因が入ってしまうが売上の的には下がるとみている。季節要因を除くと購買心理が現状より悪化するとは考えていない。市場の変化に対応できるように取り組む。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。2～3か月前からあまり良くなり、7月の賞与支給の時点で良くなるかと思っていたが、あまり良くない。前年の3割減となっている。
乗用車販売店（営業担当）	・3か月後には半期の決算を迎えるが、目立つ販売車種もなく、現状維持が精一杯である。一部では景気の良い話も聞くが、ごく一部をマスコミ等で取り上げているだけで、現実とのギャップが大きい。
乗用車販売店（渉外担当）	・新型車の追加により受注量が前年並みに推移している。法人需要はやや良い状態が続いているものの来場が思ったほど良くはなく、個人消費は完全に回復していない。総量としては今後も変わらない。
乗用車販売店（店長）	・購入見込みのユーザー数も特に増加していないので、今後、不安である。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・10月に昨年は開催しなかった大きなイベントを企画中である。企画を入れて前年並みである。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・競争相手との競争が激しくなっている。また、客があまり点数を買わなくなっている。
その他専門店〔雑貨〕（従業員）	・これと言って景気回復するような理由がない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・消費税増税や教育費の増加より、賃金上昇が可処分所得を向上させるには至っていない。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・入荷も安定しないし、天候の影響も大きく、まだ好転する兆しはない。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・じわじわと縮小が続く。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・現時点と2～3か月先とでは、環境はあまり変わらない。
高級レストラン（仕入担当）	・相変わらず円安等による料理、飲料の材料費の値上がりが続いており、販売単価を上げたいところだが、まだそれほどの勢いが感じられない。様子見の状態である。
一般レストラン（経営者）	・円安等で原価が上昇し、最低賃金の引き上げや人手不足等で人件費が上昇しているため、厳しい状況はしばらく続きそうである。
一般レストラン（スタッフ）	・家賃など様々な経費の支払があるが、値上げすると客が来なくなってしまう。世間をみてもあまり動いていないようで、全体的に悪くなっているような気もする。ただし、当店は支払が多くなっているものの、売上は落ちてはいない。
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・夏休みで一般の会社員はレジャーでお金を使うため、他に回すお金が少なくなる。
都市型ホテル（スタッフ）	・この先消費税増税があることと、中小企業ではなかなか賃金が上がってこないため、しばらくはこの状態が続く。

都市型ホテル（スタッフ）	・外国人利用客の需要は変わらずに続く。
旅行代理店（経営者）	・こここのところの猛暑で出足が鈍っているようであり、消費税増税の負担もあるのか、今のところ何とも言えない状況である。
旅行代理店（従業員）	・先の受注状況が前年比100%程度で推移している。
タクシー運転手	・景気が上向いているという話はあるが、基本的にはほんの一部で1割にも満たない程度の動きで、一般的に景気が良くなっているという感じはまだ全くない。今はこの先の動向の様子見て止まっている。
タクシー運転手	・前年は賃金が上昇したが、消費税増税の影響で物価が上昇したため、実質賃金は最低水準となっている。大企業に関してはベースアップをしているが、中小企業、中堅企業にはまだ広がっていない。個人消費は経済全体の60%を占めており、家計が苦しい状況を脱しない限り、消費の盛り上がりはない。当分の間、景気は現状維持で推移する。
タクシー運転手	・大手企業の残業は決して伸びていないが、オフィス街の大企業の本社ビルの建替えを見ると、これから期待できるのではないかという希望的観測である。
タクシー（団体役員）	・依然としてタクシーの一般利用は横ばいで、近々の増加は見込めない。
通信会社（経営者）	・4KのVOD等の新商品の反応が限定的であり、3か月先までに需要を刺激する材料がなく、営業力強化に頼らざるを得ないため、変わらない。
通信会社（経営者）	・政府の財政再建の道のりがあいまいで自分の財布が頼りなので、節約志向にならざるを得ない。
通信会社（社員）	・今月も順調に目標数字を達成している。この先、短期的には大きな変動要素がないため、変化なく維持していく。
通信会社（営業担当）	・先行きに対する不透明感は続いており、今の状態がしばらく継続する。
通信会社（営業担当）	・客の家計がまだ良くなっていないため、もう少し時間がかかる。
通信会社（営業担当）	・ここ数か月、契約数、契約単価共にほぼ横ばいの状況が続いており、この状況はしばらく続く。
通信会社（局長）	・業界的に革新的なサービスがなく、携帯のウェアラブルが伸びる傾向にはあるが、当業界との連動性には難があるので、第4四半期からの新サービスに期待がかかる。
通信会社（経営企画担当）	・しばらくは商談に変化はないとみている。
パチンコ店（経営者）	・競合店も含めて夜の時間の来客数が伸びていない。朝は以前と比べて当社のチェーン店では入るようになったが、夜のピーク時にサラリーマンが増えないことがあり、この先、上がると答えたいが、現状維持がやっとなので、変わらない。
その他レジャー施設（経営企画担当）	・明らかに悪くなる兆候はないものの、今の身の回りの景気を支えている一つであるインバウンドについて、今後の為替や株価の動向、ギリシャ危機による不安、戦後70年談話いかんでの日中、日韓関係の変化などで劇的に悪化する不安があるため、変わらない。
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・株価の上昇等があったが、ギリシャ危機の問題や中国の株価急落等で若干株価が安定してきたので、3か月後は今の状況が続く。
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・特に良くなる材料も悪くなる材料もない。
設計事務所（所長）	・世の中の動きが定まらず、このまましばらく様子見が続く。
設計事務所（職員）	・変化の兆しを感じられない。
住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場等の来場客は前年並みで、厳しい状況はまだ続きそうである。賃貸住宅は相続税の増税対策による受注がもう少し続く。
住宅販売会社（従業員）	・受注は売上の先行指標であり、受注の低迷は売上や利益の減少に直結するためである。
やや悪くなる	
一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・狭間にあるのかもしれないが、外商の案件が若干少なくなってきた。また、この暑さのせいも、後半にかけて来客数がやや減っていることもあるので、今後、天候の不安定要素で来客数が若干減ることがあるのではないかと思う。
百貨店（営業担当）	・婦人服に良い状況は見当たらない。円安の問題も大きく、特に、秋冬物については実質、値上げをしなければならず、家計に大きく影響すると思われる。
百貨店（販売促進担当）	・前年の消費税増税やインバウンドの影響により高額品や化粧品の上は大幅に伸びているが、主力の婦人衣料、特に、ボリュームゾーンの売上があまり伸びていない。

		百貨店（営業企画担当）	・消費税増税の影響は今後も続くことと、また、消費者は更なる増税も見据えていることを考慮すると、景気は決して良くはならない。
		コンビニ（経営者）	・天候に左右され、本格的な景気回復には至っていない。
		コンビニ（経営者）	・世界の情勢が悪い方向に向かっているような気がする。
		コンビニ（経営者）	・やはりコンビニの店舗数の増加によるものが大きい。最近の猛暑で今現在は売上は伸びつつあるものの、9月になれば下がっていく。コンビニ経営者は売上減と人材不足で疲労困ぱいしている。
		衣料品専門店（店長）	・景気対策として各自自治体を実施しているプレミアム付商品券が開始された地域での反応が良くない。これだけのプレミアムをつけてお得感があるが、効果が出ていないように感じるということは、なかったら更に悪いということである。
		衣料品専門店（営業担当）	・購入する客が少なくなってきた。今後、商売を考えなければならぬと思う時もある。
		乗用車販売店（経営者）	・軽自動車税が増税されてから来店客が激減している。
		住関連専門店（統括）	・早急に景気が回復する要素も見当たらず、買い控えなどがまだ続く。
		通信会社（経営者）	・政府の求心力がなくなってきたため、景気拡大の施策が打ちにくいと思う。
		通信会社（総務担当）	・夏期レジャーやお盆の消費の反動で消費が若干冷え込む。
		ゴルフ場（従業員）	・良くなる要素が見当たらない。
		ゴルフ場（支配人）	・現状の来客の傾向から、来客数の増加はあまり期待できず、夏を過ぎて秋になっても例年よりも良くなるとは思えない。むしろ団塊世代の減少により、全体的に低下傾向である。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・生徒数が減少している。生徒の親が、物価が上がっているため、塾にかかる費用を多少切らざるを得ないと話していた。景気としてはあまり良くない。下がる方向にいくのではないか。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・10月にはメーカーの実質値上げが控えており、買い控えや節約をする顧客が増加する。プレミアム付商品券等の活性化対策が講じられても対象となる業種ではないため、売上の増収効果は期待できない。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・秋は集客時期になるが、前年比でも現時点で問い合わせ件数などが少ないため、やや悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・賃金増等の恩恵は、大企業の社員を中心とした一部の人間に限られている。民需が活発にならない限り、景気回復は難しい。
		設計事務所（所長）	・期待している行政の指名案件も、前年の3分の1くらいになっている。そのうえ、民間案件の動きがなく、先行きは非常に厳しくなる。
		設計事務所（所長）	・それなりに仕事量が増えるという状況ではないので、景気が決して良くなるとは思えない。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・先々のまとまった案件が減少していることから、現状より上向き要素が見当たらない。
	悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・連日の猛暑で日中は人通りがない。お茶を急須で煎れて飲むことが減り、ペットボトルのお茶が主流になってきており、売上も下がる一方である。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・オーバーストアのため、悪くなる。
		タクシー運転手	・良くなる材料がない。
		設計事務所（経営者）	・国が定めた法律により最低制限価格制度というのができた。仕事が欲しいため、すぐの思いで最低制限価格で入札したが、最低制限率が0.6666であった。そのような金額で仕事ができるだろうか。県内の多くの市町村が0.78、0.68などで、当市でさえ0.6777と、考えられない。当社はそういったなかで入札をしている。これは適正価格と言えるのだろうか。
		住宅販売会社（経営者）	・大企業の従業員は多少所得が増えつつあるかもしれないが、中小企業の従業員は全く増えていない。物価が上昇しているために購入意欲が激減している。何とか中小企業もベースアップができるように景気を回復させてほしい。消費税については一律ではなく、ものによって考えるべきで、住宅は免税にしてほしい。
企業動向関連	良くなる	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・忙しくなってきたことと、仕事の件数も多くなってきたので、良くなる。
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・プレミアム付商品券が発売されるので、少し希望を持っている。

(南関東)

出版・印刷・同関連産業（経営者）	・この先3か月が年間で最も売上が上がっていくため、やや良くなる。	
出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人関係の注文数が多いが、店頭での印鑑注文も増えてきている。通信販売で印鑑リフォームの注文も受けているが、急ぎではなく、家にある石印材の堀り直しの注文が多いので、少し個人の資金に余裕が出てきたと感じている。	
建設業（従業員）	・受注量が増加している。	
建設業（営業担当）	・国内、海外情勢に伴い原油や株価が変動し、見積にも影響があるため、その変化と消費税10%への増税前に設備投資を検討している企業が多く、工事作業員の人員確保や施主の予算に合わせた調整に時間がかかる。	
金融業（従業員）	・緩やかながら業況の改善が広がっており、売上、収益共に増加傾向になってきたとの声を聞く。しかし、賃上げに踏み切るほどではなく、力強さには欠けているように感じる。	
金融業（支店長）	・前向きな設備投資の話も出始めており、景気回復の兆しがある。	
税理士	・アメリカの景気が良くなり、日本車が売れている。一方で中国の景気が減速し、バブルがはじけるのではないかと不安なところがある。以前はその逆であり、さらにそれ以前は日本国内の政治が不安定であった。現在はアベノミクスでかなり強引なところもあるようだが、政治が引っ張っており、少しずつ良くなっていく。	
税理士	・ギリシャ、中国の情勢次第ではあるが、外国人の来日も多く、世間では異国の言葉があふれているので、アパレル、家電業界は盛況である。	
変わらない	食料品製造業（経営者）	・現状はやや良いが、加速度的に良くなると思えない。
食料品製造業（営業統括）	・夏場の最盛期はやはり天候に左右されるため、天候次第である。	
出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・時期的な要素で景気が良くなると感じることは何もない。	
化学工業（従業員）	・8～9月は休みが多く、生産量も通常より少なくする予定のため、景気が良くなると思えない。	
プラスチック製品製造業（経営者）	・特に悪くはならないと思うが、良くなる要素もないため、景気の動向は変わらない。	
プラスチック製品製造業（経営者）	・大手の3月決算は良好のようだが、我々中少には全くと言っていいほど届かず、新企画も先送りにされて見通しが付かないため、資金繰りに影響が出そうである。	
金属製品製造業（経営者）	・大口の見積を相当出しているがなかなか決定に至らないため、新しい客を開拓して仕事を進めている。	
一般機械器具製造業（経営者）	・前年受注したものが秋口から立ち上がるが、利益があまり出るようなものはないので、良くはならない。	
電気機械器具製造業（経営者）	・過去に開発した商品が今ごろから売れ出してきており、今後、オリンピックに向けて良くなるのではないかと思う。	
電気機械器具製造業（経営者）	・中小企業では短期的に経済の循環が良くなって需要が増えるという見通しはなく、観光業以外は各業界とも明るくない。	
その他製造業〔靴〕（経営者）	・極めて消極的な言い方もかもしれないが、良くなるというよりも悪くならないようにと得意先でも頑張っているため、我々も一緒に頑張りたい。	
その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・世の中にある景気回復感、美容室にはまだ実感としてはない。	
建設業（経営者）	・中小企業対策が実施されているのかどうか分からない。	
建設業（経営者）	・次の消費税増税までは現状維持である。	
建設業（経営者）	・今年度までは仕事量が沢山あるような状況でいくと思うが、先を考えると大変不安が残る。既にオリンピック前から冷え込むのではとの話も出てきている。	
建設業（経理担当）	・東京都心で工事量が大幅増加しているようで、当地域の工事に都心業者が参入してくることが少なくなってきた。しかし、監督、職人共に不足しているので、受注件数をこれ以上増やすことがなかなかできない。当地域の職人が都心に目を向けず、人件費が上がらないように願うばかりである。	
輸送業（総務担当）	・新規の案件が少なく、今後の売上増が期待できない。人件費の上昇もあり、厳しい状況は続く。	
通信業（広報担当）	・当面は一進一退の状況が続く。	
金融業（統括）	・中国の株価等、海外の不安要素が多いので、それほどプラスにはならない。	

		金融業（営業担当）	・製造業の先行きの受注状況が思わしくなく、設備投資も一時期よりは落ち込んでいる。株価がやや持ち直しており、また、プレミアム付商品券等で売上が増加している。建設業はまだまだ順調に売上を上げると思われる。総合的にみると景気は現状と変わらない。
		金融業（役員）	・不動産、建設業共に以前より低調となっている。地方創生の動きに期待する傾向もあるが、具体的な方向性が見えず、実感がわかない。
		不動産業（経営者）	・マンションの空室状態が続いている。どのようにしたら空室対策ができるか、検討の毎日である。
		不動産業（経営者）	・近隣の大型店の拡張もあり、当商店街もテナント化が進むなか、飲食店の進出が多くなっている。
		不動産業（総務担当）	・所有オフィスの満室状態が当面は続く見通しである。
		広告代理店（従業員）	・受注予測からも売上増に結び付く要素がみられない。また、特に減少もない。
		社会保険労務士	・良くなる要素が見当たらない。
		経営コンサルタント	・小規模建設事業者は、「仕事は選べるほどあるが、人がいない。今年も賃金をかなり上げたが、欲しい人材が確保できず、思ったプロジェクトに取り組めない。パートも確保できない。10月から新たな最低賃金の実施に移るが、これによりまた営業費が増加する。苦悶状態が続くそうである。」と話している。
		経営コンサルタント	・大手の良い影響が中小に波及すると想定していたが、あまり波及してこない様子である。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・景気の動向も気になるが、人材確保が大きな課題となっている。今後もその状況が続く、景気へも影響が出てくるのではないかと。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・いかに人材を確保するかを早急に考えないと業況は変わらない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・見積り件数も増えてきているが、人手不足の影響で外注化しているように思える。契約金額が上がってくれば、少しは景気が良くなっている実感が湧いてくるが、現状では変わらない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・こここのところ、マンションのインターネット環境整備の受注量には変化がみられず、今後も大きな変化が発生する要因もみられないため、このままの状況が継続する。
	やや悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・中国や新興国など海外の景気は奥が深く、なかなか良くなるように感じる。中国が景気回復しないとエネルギー需要は増えてこない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・大企業からの支払条件の変更が多い。手形が非常に多くなっているため、資金繰りが改善されなければ本当の景気ではない。
		輸送業（経営者）	・良くなるというような見通しが歴然としていないので、状況としては悪くなるを選択したが、それでは景気に対して後向きになってしまうので、できれば早い段階で景気が上昇するような状況を作ってもらえれば有難い。
		輸送業（経営者）	・例年8～10月は売上の減少する期間に入るため、今期も同様に現在より状況は悪くなる。
		輸送業（総務担当）	・当面、主要荷主の鉄鋼関係、住宅関係は共に出荷量の低迷が続く。
		広告代理店（経営者）	・これまでと類似の効率の良い仕事が、今後、見当たらない。
		広告代理店（営業担当）	・社内的な要因であるが、若手、中堅社員の転職が増加する一方、高齢であまり動きの良くない社員の割合が増加している。仕事効率が悪く、また、仕事量の偏りにより、会社全体として仕事の質の低下傾向が、ここ数か月如実に現れるようになってきているため、あまり良くない売上と給料になるのではないかと。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・中小企業にとっては、金融がますます厳しくなる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・中国の景気減速のため、やや悪くなる。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長）	・資材関連等の価格上昇に伴い、利益を生み出すことが非常に厳しい。生産設備を止めることも難しいので、厳しい状況は続く。
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・引き続き人材の枯渇感がある。
(南関東)		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・すでに予約を受けている。
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・労働者派遣法の改正が明確になれば、求人数の増加に期待が持てる。

	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・採用活動の動向から、やや良くなる。
	職業安定所(職員)	・6月の月間有効求人倍率は0.97倍で、前月から0.03ポイント上昇している。月間有効求人数は7,695人で、前月比0.6%の増加である。
	職業安定所(職員)	・このところ新規求人数が前年比で2けた増となっている。また、新規高卒求人も大幅増となっている。
	民間職業紹介機関(職員)	・新卒採用の状況次第であるが、採用ニーズは強いものの時期のずれにより、計画数確保に苦戦する企業も出てくる可能性が高く、第2新卒採用などが活発になる可能性がある。
	学校[大学](就職担当)	・季節が変わるので、それに伴って変化があると予想すると同時に願望も含めてやや良くなる。
変わらない	人材派遣会社(社員)	・製造業の人と話をしたが、原材料、特に、輸入物が高くなり、また、中国の景気が不安定なこともあり、非常に将来を心配しているという声が多い。
	人材派遣会社(社員)	・企業からの求人に対し、採用に苦戦する状況が続くそうである。
	人材派遣会社(社員)	・景気が上昇傾向になる要素が思いつかない。
	人材派遣会社(支店長)	・派遣成約数が大きく増える見通しがなく、契約終了数に左右される業績となっている。
	人材派遣会社(営業担当)	・上半期から下半期への切替わりの時期で多少求人数が増えるかもしれないが、現状とそれほど変わるとは思えない。特に良い材料も悪い材料も見当たらない。
	人材派遣会社(営業担当)	・事務系派遣案件に関して、潜在的な需要が見受けられるが、労働者派遣法改正の動きもあり、不透明さが残る。現状とさほど変わらないような景気で推移する。
	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・客が採用を増やすというよりも今の人数でしっかりやっていくという方向に変わってきたので、あまり変わらないのではないかと。反響が鈍すぎて今の人員でやるしかないということが実状のようである。
	求人情報誌製作会社 (広報担当)	・売上が多少増えても人件費がかさむので、賞与、給与自体は横ばいであるという話をよく聞く。
	職業安定所(職員)	・人手不足だが、中小企業を中心に賃上げはまだ広がっていない。
	職業安定所(職員)	・新規求職者数は前年同月に比べわずかに増加となっているが、離職者、在職者、無業者等の全体に占める割合が過去2年と比較しても大きな変化がみられない。最近数か月間も同様に推移している。
	職業安定所(職員)	・一時、ギリシャ危機で輸出産業等が悪化する懸念があったが、ユーロ離脱回避となったためしばらく落ち着く。ただし、中国市場、株価の動き次第で変わってくる。
	職業安定所(職員)	・建設業など、一部の業種は人手不足を訴えているが、大多数の業種から良くなっているとの意見を聞かない。
	民間職業紹介機関(経営者)	・決算発表が終わり、採用求人に一服感がある。秋口からの動向は不明である。
	民間職業紹介機関(経営者)	・徐々に良くなるということではなく、この程度の状況がしばらく続く。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-